

都健セ第9号
令和元年8月吉日

各位

一般社団法人 都城市北諸県郡医師会
都城健康サービスセンター
所長 長倉 穂積

『世界糖尿病デーイベント in 都城』広告協賛のお願い

立秋の候 貴社におかれましては、益々ご繁栄の段心よりお喜び申し上げます。
平素は当センターの事業にご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、当センターはご承知のとおり健診・検査事業を通して地域住民等に対する健康増進、疾病予防のサービス向上を図ることをもって地域の医療及び福祉の増進に寄与する事業を行っております。

そのような中、当センターにおきましては、今や世界共通の病ともいえる糖尿病について広く糖尿病に対する脅威を認識して頂く為に、平成23年より11月14日の『世界糖尿病デー』にあわせて「世界糖尿病デーイベント in 都城」と題して地域住民を対象にした啓発活動に取り組んでおります。本事業の実施にあたっては、多くの地域住民の方に参加して頂く為に健康教育講演会やアトラクション等を企画しております。

つきましては、本事業へのご理解を賜り皆様方から広告協賛という形でご支援をお願いできればと考えております。

尚、広告協賛につきましては、「世界糖尿病デーイベント in 都城」のチラシに協賛会社名を掲載いたします。また、当センターが毎年1月に一般社団法人都城市北諸県郡医師会全会員向けに発行しております「センター便り」には会社名とロゴ等を掲載いたします。

※ 広告協賛申込書等は、都城健康サービスセンターホームページよりダウンロードすることもできますのでご利用ください。

「2019年世界糖尿病デーイベント in 都城」開催計画書

1. イベント名称 2019年世界糖尿病デーイベント in 都城
2. 開催趣旨 11月14日の『世界糖尿病デー』に合わせて広く地域住民に糖尿病予防に対する意識啓発を行う。
3. 日時 2019年11月22日(金)18時30分～21時00分
4. 会場 都城市総合文化ホール(中ホール:あさぎり)
〒885-0024 都城市北原町11106番地100
TEL(0986)23-7140
5. 共催 一般社団法人都城市北諸県郡医師会
都城健康サービスセンター
都城市,武田薬品工業株式会社(講演会のみ)
6. 後援 BTV株式会社
7. その他 11/11(月)～11/17(日)の期間、都城市総合文化ホールを糖尿病撲滅シンボルカラー(ブルー)にライトアップします。
8. 当日予定
18:00 開場
18:30 開催式(主催者挨拶等)
18:45～19:05 講演Ⅰ「未定」 講師:都城市健康課
19:05～19:55 講演Ⅱ「血糖コントロールと合併症・併発症進展阻止を見据えた糖尿病食事療法の考え方」
講師:横浜市立大学大学院医学研究科
分子内分泌・糖尿病内科学 教授 寺内 康夫 先生
20:00～21:00 アトラクション(橘太鼓響座、カラーガード、歌(Land Cell.))
9. 参加者数 約360人(昨年実績)

ファックス(0986)38—2210
(都城健康サービスセンター)

広告協賛申込書

申込年月日:2019年 月 日

申込み者	住所	〒 ー	
	連絡先	TEL	FAX
	ふりがな 会社名		
	ふりがな 担当者名		
備考	E-mail		
※ロゴマーク等(□前回と同じ・□変更あり)			

掲載広告等について

- | | |
|--|-------|
| 1) 広告サイズ等 縦 3cm × 横 7cm | ※白黒印刷 |
| 原則サイズは上記の一律としておりますが、それ以外を希望される場合はご相談ください。 | |
| 2) 広告掲載料金 1万円 | |
| 3) 広告原稿 申込書と一緒に送付ください。 ※前回と同じ場合は備考欄にご記入下さい。
会社のロゴマーク等は明瞭なものをメールにて送付願います。
E-mail 送信先 shomu@miyakonojokenko.com | |
| 4) 申込締切日 2019年 9月 21日(土) | |
| 5) 掲載方法 「世界糖尿病デーイベント in 都城」の案内チラシにはスペースの都合で協賛会社名のみを掲載します。全医師会員向けに発行するセンター便り(2020年1月発刊)には会社名(ロゴ含む)を掲載します。 | |

『広告料お振込み先』

銀行名 宮崎銀行・都城営業部

口座番号 1869556

口座名義 都城健康サービスセンター 所長 長倉穂積(ナガラ ホヅミ)

*振込み料 大変恐縮ですが、御社のご負担でお願い致します。

【お問合せ・広告協賛申込先】

〒885-0002 宮崎県都城市太郎坊町 1364-1
都城健康サービスセンター 庶務課:瀬之口
電話(0986) 36-8750/ FAX(0986) 38-2210

(健康サービスセンター便り広告)

糖尿病についてもっと話そう！！

私たちは、世界糖尿病デー事業の取り組みに協賛しています。
